

JAF 愛知 車両水没をVRで 疑似体験 金城学院大



(JAF 愛知支部提供)

日本自動車連盟(JAF) 愛知支部(今枝実支部長)は22日、金城学院大学(名古屋守山区)で車両水没をVRで疑似体験する交通安全講習(写真)を実施した。

交通心理学(北折充隆教授)の授業の一環で、360度カメラで撮影した車両水没時の車内の様子を学生たちが体験した。

ンに向け、集中豪雨により冠水した際、「車内に水が入り、外の水位との差が小さくなったときに脱出のタイミング。圧力の差が縮まるためドアにかかる水圧も小さくなるので、ドアが開けやすくなる。車はなかなか沈まないなので、落ち着いて脱出の機会をうかがいながら、そのタイミングを逃さず、一気に脱出をはかる」と呼びかけている。

JAFでは、台風シーズ

う」と呼びかけている。